

# 愛知県公文書館年報

第 30 号

平成 28 年度





# 目 次

## I 愛知県公文書館の概要

1 目的	1
2 沿革	1
3 組織	2
4 業務内容	2
5 予算額の推移	2
6 施設の概要	3
7 所蔵状況	4

## II 愛知県公文書館の業務

1 公文書等の収集・整理	6
(1) 公文書	6
(2) 刊行物等	6
(3) 古文書等	6
2 公文書等の保存	7
(1) くん蒸・配架	7
(2) 複製物の作成	7
(3) 資料の修復・保護	7
3 利用状況	7
(1) 一般利用	8
(2) 行政利用	9
4 所蔵資料の展示	10
5 古文書講座	10
6 調査・研究	10
7 機関紙の発行	11
8 その他	11
(1) 所蔵資料検索システム	11
(2) デジタルデータ閲覧サービス	11

# I 愛知県公文書館の概要

## 1 目的

県の諸活動や歴史的事実を記録した公文書は、県民共有の知的資源であるとともに、県政が適正かつ効率的に運営されるよう、その歩みを後世に伝える貴重な歴史的資源である。

愛知県公文書館は、そうした歴史的価値のある県の公文書その他資料を収集し、整理し、及び保存するとともに、その活用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

## 2 沿革

昭54.	1. 22	県及び県議会に対し「公文書保存について」要望（愛知県の歴史資料保存をすすめる会代表 塩澤君夫氏）
	9. 26	県議会に対し「公文書保存体制確立について」請願（愛知県の歴史資料保存をすすめる会会員 結城陸郎氏ほか16名）
	10. 22	9月定例県議会において、上記請願を全会一致で採択
昭55.	3. 10	公文書館設立に係る諸課題を調査研究するため、総務部文書課に「公文書館問題研究班」を設置
	10. 17	「公文書館問題調査報告書」を作成
昭56.	4. 13	歴史的資料としての公文書の保存制度（公文書館制度）の試行的発足に伴う保管文書等の取扱いについて（依命通達）
	4. 17	県民有識者参加のもとに「県立公文書館構想懇談会」を設置
	12. 21	同懇談会の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の基本的な構想について」の意見書を提出
昭57.	5. 31	県民有識者参加のもとに「県立公文書館運営問題検討会議」を設置
昭58.	10. 27	県立公文書館運営問題検討会議の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の運営に関する意見」を提出
昭61.	2. 19	愛知県自治センター竣工
	3. 24	「愛知県公文書館条例」を議決（3月26日公布、7月1日施行）
	6. 25	愛知県公文書館規則公布（7月1日施行）
	6. 30	公文書館開館式典の挙行
	7. 1	公文書館開館（初代館長 藤原恂二）
昭62.	12. 15	公文書館法公布（63年6月1日施行）
昭63.	4. 1	行政委員会等文書収集開始
平 2.	4. 1	資料課分掌事務に「県史編さんに関すること」を追加（愛知県行政組織規則の一部改正）
	10. 31	愛知県史資料編さんに関する検討会設置
平 3.	9. 20	愛知県史資料編さんに関する検討会の座長が総務部長に「愛知県史資料編さんに関する報告書」を提出
平 4.	6. 15	愛知県史資料懇談会設置
	11. 12	第18回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会開催（11月12日・13日）（全史料協・愛知県主催）
平 5.	3. 10	愛知県史資料懇談会会長が知事に「愛知県史資料の調査収集及び県史の編さんについて検討結果報告書」を提出
	7. 16	県史編さん準備会議（全体会議）開催
平 6.	4. 1	愛知県史編さん事業が開始 県史編さん事務が総務部文書課の事務となる

平 9. 12. 1	『愛知県公文書館だより』創刊
平11. 1.	愛知県公文書館のホームページ開設
4. 1	総務部文書課の直接管理となる 館長が文書課長兼務、副館長が文書課主幹兼務となる
平12. 4. 1	部制再編に伴い総務部総務課所管となる 館長が調整監兼総務課長兼務、副館長が総務課主幹兼務となる
平14. 4. 1	館長が総務部総務課長兼務となる
平16. 3.22	所蔵資料検索システムが稼働
4. 1	愛知県総合文書管理システムが稼働
平18. 4. 1	本庁組織の見直しに伴い総務部法務文書課所管となる 館長が法務文書課長兼務、副館長が法務文書課主幹兼務となる

### 3 組織

館 長 ——— 副 館 長 ——— <small>(法務文書課長兼務) (法務文書課主幹兼務)</small>	総務部法務文書課公文書館グループ 課長補佐 1名 (公文書館グループ班長) 主 査 1名 技 師 1名 主 事 2名 嘱 託 員 6名
--	--

### 4 業務内容

- (1) 公文書等を収集し、整理し、及び保存すること。
- (2) 公文書等を利用させること。
- (3) 公文書等を展示すること。
- (4) 公文書等に関する調査研究を行うこと。

### 5 予算額の推移

年度別当初予算額

(単位：千円)

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
管理運営費	3,901 (1,848)	8,529 (6,525)	3,841 (1,848)
文書整理費	1,330 (449)	1,299 (449)	1,299 (449)
計	5,231 (2,297)	9,828 (6,974)	5,140 (2,297)

※ 1 ( )内は、予算総額のうち事業費の額である。

※ 2 平成27年度の管理運営費には、電動式書架改修工事費4,677千円を含む。

## 6 施設の概要

(1) 場所

名古屋市中区三の丸二丁目3番2号 愛知県自治センター 7・8階

(2) 施設面積

2,166.12㎡

書庫	1,229.09㎡
閲覧室・開架室	254.46㎡
閲覧和室	31.02㎡
展示室	112.80㎡
事務室、整理室等	538.75㎡

(3) ハロンガス消火設備

書庫、整理室Ⅱ・Ⅲ、保管室、マイクロ保管庫

(4) 床荷重補強

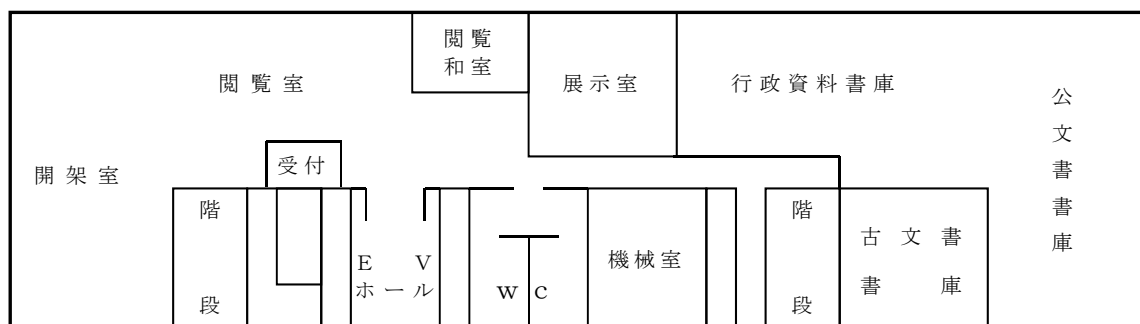
書庫部分 最高 1,200kg/㎡

(5) 資料の収蔵能力

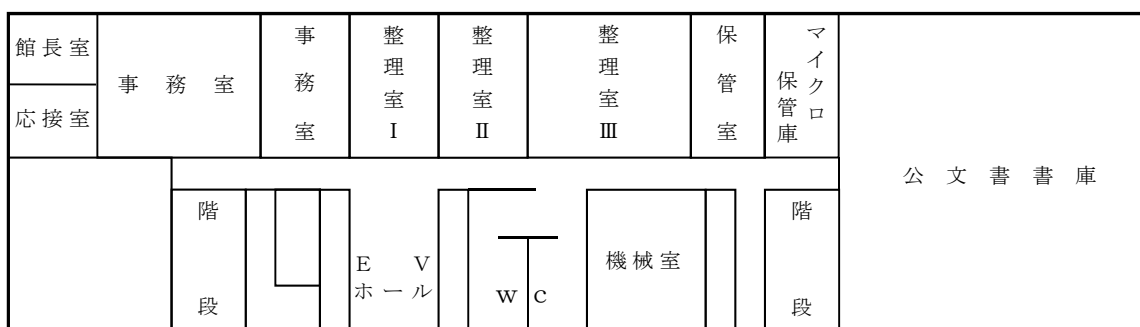
約29万冊（書架延長13.5km）※当初計画

(6) 公文書館の平面図

7階



8階



## 7 所蔵状況

(単位：冊・巻・点)

資料区分		開館時 (昭和61年)	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末
公文書	原本	28,429	72,404	73,625	73,486	73,767
	複製本	1,116	6,870	6,870	6,870	6,870
	マイクロフィルム	2,567	9,767	9,767	9,767	9,767
	計	32,112	89,041	90,262	90,123	90,404
刊行物等	原本	5,474	79,278	79,980	81,063	81,966
	複製本	0	20	20	20	20
	マイクロフィルム	0	3,260	3,260	3,260	3,289
	計	5,474	82,558	83,260	84,343	85,275
古文書等	原本	0	4,283	4,305	4,319	4,518
	複製本	0	28	28	28	28
	マイクロフィルム	0	90	90	90	90
	計	0	4,401	4,423	4,437	4,636
旧公印		0	340	344	346	346
合計		37,586	176,340	178,289	179,249	180,661

※ 公文書には、地籍図・地籍帳、愛知県庁文書、名古屋藩庁文書、郡役所文書等を含む。

(参考)

次の資料についてはデジタルデータ化し、上記とは別にCD等に保存している。

実施年度	資料名	数量(冊・点・枚)	収録先
14年度	地籍帳	2,424	CD-ROM
15年度	藩庁文書・県庁文書等	923	CD-ROM
16年度	地籍図	2,208	DVD

〔特色ある所蔵資料〕

資料区分	内 容	公開冊数
名古屋藩庁文書 (幕末～明治4年)	明治初期における名古屋藩が作成・管理していた文書。旧尾張藩時代から引き継いだものや廃藩置県以後の記録も含まれている。名古屋藩における職制・藩制等の改革に関する一連の文書や新政府への報告書等がある。	195冊
愛知県庁文書 (明治5年～昭和初期)	明治5年(1872年)の愛知県の成立から昭和15年(1940年)までの文書。愛知県成立以前の尾張・三河の旧県庁からの引継文書も含まれている。草莽諸隊の士族復籍運動に関する文書や明治期の学務課文書などがある。	220冊
地籍図・地籍帳	明治16年(1883年)の内務省達乙第16号によるもので、明治17年(1884年)3月17日付け愛知県布達乙第44号に基づき各郡区戸長から提出されたもの。県内のほとんどの地域のものがある。なお、地籍図・地籍帳とも、原本を保護するため複製図又はデジタルデータを利用に供している。	地籍図 2,208枚 地籍帳 2,424冊
郡役所文書	明治11年(1878年)から大正15年(1926年)まで設置された郡役所の文書。郡役所が廃止された後、県庁に引き継がれた文書と県事務所に引き継がれた文書がある。郡役所で管理されていた公文書以外の資料(尾張名所図会、信長記など)も含まれている。	349冊
徳川林政史研究所所蔵 「愛知県庁文書」等	主に幕末から明治前期にかけての愛知県成立期における本県の状況がわかる文書。旧藩書類、旧県々書類、学校願伺留、尾参士族名簿、旧名古屋税務監督局所蔵文書など各分野にわたる。	複製本 2,056冊
国文学研究資料館所蔵 「愛知県庁文書」	明治6年(1873年)から昭和初期にかけての本県に関する文書。共進品評博覧会一件、会社関係書類綴、貸下金決議留、北海道移住民一件など兵事、学事、商工、土木を中心とする。	複製本 2,404冊
水産総合研究センター 中央水産研究所所蔵 「愛知県庁文書」	明治中期から大正にかけての本県に関する文書で、水産関係を中心とする。	複製本 78冊
国立公文書館所蔵 「愛知県史料」	内閣文庫が所蔵する「府県資料」のうちの本県分	複製本 23冊
古文書等	愛知県教育会等文書、官脇家文書、大塚家文書、大脇家文書など	4,636点

※ 他機関所蔵「愛知県庁文書」等について

昭和13年(1938年)、現在の県庁舎が竣工し、南武平町の旧庁舎から移転した際、多数の古い公文書が廃棄決定され、明治期の公文書の多くが尾張徳川黎明会に下附された。その一部が現在、公益財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所、国文学研究資料館に所蔵されている。また、水産総合研究センター中央水産研究所には、水産関係の愛知県庁文書が所蔵されている。

愛知県公文書館では、これらの機関に所蔵されている愛知県庁文書(徳川林政史研究所所蔵「旧名古屋税務監督局所蔵史料」を含む。)を全てマイクロフィルムで撮影し、複製本を作成して利用に供している。



## II 愛知県公文書館の業務

### 1 公文書等の収集・整理

#### (1) 公文書

公文書については、廃棄予定文書の中から、歴史的価値があると認められるものを収集している。歴史的価値のある公文書の選別基準は、愛知県公文書館公文書等管理規程により定めている。

歴史的価値のある公文書の選別については、当該年度をもって保存期間が満了する廃棄予定文書の中から、専ら本館が選別する取扱いとしていたが、平成24年度の完結文書からレコードスケジュールを導入し、事案が完結した翌年度に、各所属において一次的な選別を行っている。

収集した公文書は、件名目次の作成、データ入力などの必要な整理を行い、原則として事案の完結後30年を経過したものについて、順次利用に供している。

所定の整理を終えて利用に供している公文書は、平成27年度末現在で28,625冊・点である。

なお、各所属から本館に移管された公文書については、本館の所蔵資料（歴史的価値のある公文書）として適当であるかを改めて再選別（二次選別）し、本館に移管済みのものであっても、所蔵資料から除外する作業を平成25年度から実施している。これにより、平成27年度には、移管済みの公文書のうち530冊を処分した。

#### (2) 刊行物等

県公報・官報、県の機関が作成した調査統計資料や報告書等の行政刊行物のほか、県内市町村や他機関等から寄贈のあった刊行物等を保存している。

収集した刊行物等は、データ入力などの必要な整理を行った上で配架し、利用に供している。

#### (3) 古文書等

県と関わりのある歴史的価値のある古文書や私文書等の寄贈又は寄託を受けて保存している。

寄贈又は寄託を受けた古文書等は、目録データの作成などの必要な整理を行った上で利用に供している。

平成27年度公文書等収集状況

(単位：冊・点)

区 分		数 量
公 文 書	知事部局(地方機関を含む。)	787
	行 政 委 員 会 等	24
刊 行 物 等	県 公 報 ・ 官 報	54
	県 の 機 関	539
	そ の 他	339
古 文 書 等		199
合 計		1,942

## 2 公文書等の保存

### (1) くん蒸・配架

収集した公文書等は、カビや虫害等を防ぐために、くん蒸処理を行った後、書庫に配架している。

書庫内には除湿機を設置し、24時間湿度管理を行っている。

### (2) 複製物の作成

原本を破損や汚損から保護するため、必要に応じてマイクロフィルム等の複製物を作成し、利用に供している。

閲覧頻度の高い地籍図については、特殊プリント方式による複製化を行っている。

### (3) 資料の修復・保護

公文書については、整理の際に、ホチキス、クリップ等の金属類の除去、表紙の補修などの修復作業を行っている。

また、劣化の著しいものや古文書等については、資料を保護するため、中性紙の保存袋や保存箱に収納して保存している。

## 3 利用状況

年 度		23年度まで	24年度	25年度	26年度	27年度	累計
開 館 日 数 (日)		6,301	239	238	238	235	7,251
入館者数(人)	一 般 利 用	89,386	3,582	3,624	3,307	3,798	103,697
	行 政 利 用	16,197	634	539	587	714	18,671
	計	105,583	4,216	4,163	3,894	4,512	122,368
	1日平均入館者数	16.8	17.6	17.5	16.4	19.2	16.9
利用冊数(冊)	一 般 利 用	125,671	8,016	6,873	8,443	5,717	154,720
	行 政 利 用	77,841	3,161	2,501	2,611	3,787	89,901
	計	203,512	11,177	9,374	11,054	9,504	244,621
	1日平均利用冊数	32.3	46.8	39.4	46.4	40.4	33.7
複 写 利 用 枚 数 (枚)		396,684	26,015	20,764	18,516	18,794	480,773

(1) 一般利用

平成27年度 月別一般利用状況

月	開館日数(日)	入館者数(人)	利用冊数(冊・点)	複写利用者数(人)
4月	18	310	516	91
5月	18	298	380	96
6月	22	370	490	88
7月	22	284	891	104
8月	21	289	569	88
9月	19	242	378	72
10月	21	375	635	110
11月	19	542	415	83
12月	18	373	347	72
1月	18	217	277	76
2月	20	289	453	108
3月	19	209	366	74
合計	235	3,798	5,717	1,062

年度別一般利用状況

(単位:冊・巻・点)

項目		年度					累計
		23年度まで	24年度	25年度	26年度	27年度	
公文書	公文書	11,818	435	505	501	674	13,933
	地籍図・地籍帳	33,587	1,912	1,881	2,006	1,930	41,316
	他機関所蔵資料	33,128	3,019	816	395	414	37,772
	計	78,533	5,366	3,202	2,902	3,018	93,021
刊行物等	県公報・官報	12,347	510	241	333	148	13,579
	行政刊行物	23,198	929	2,354	4,059	1,534	32,074
	県史・市町村史誌	3,451	137	139	258	222	4,207
	参考図書等	8,142	1,074	937	891	795	11,839
	計	47,138	2,650	3,671	5,541	2,699	61,699
合計		125,671	8,016	6,873	8,443	5,717	154,720

(2) 行政利用

平成27年度 部局別行政利用状況

部 局		人 数 (人)	点 数 (冊・点)
知 事 部 局	政 策 企 画 局	6 (1)	16 (2)
	総 務 部	130 (13)	681 (30)
	振 興 部	17 (9)	45 (18)
	県 民 生 活 部	20 (16)	50 (23)
	防 災 局	2 (1)	5 (3)
	環 境 部	19 (11)	68 (21)
	健 康 福 祉 部	229 (30)	686 (37)
	産 業 労 働 部	12 (8)	38 (20)
	農 林 水 産 部	126 (37)	1,143 (78)
	建 設 部	121 (54)	955 (100)
	会 計 局	0 (0)	0 (0)
	地 方 機 関	0 (0)	0 (0)
	計	682 (180)	3,687 (332)
行 政 委 員 会 等	議 会	3 (0)	4 (0)
	教 育 委 員 会	26 (11)	88 (45)
	選 挙 管 理 委 員 会	0 (0)	0 (0)
	人 事 委 員 会	0 (0)	0 (0)
	監 査 委 員	0 (0)	0 (0)
	公 安 委 員 会	1 (0)	1 (0)
	労 働 委 員 会	0 (0)	0 (0)
	収 用 委 員 会	0 (0)	0 (0)
	海 区 漁 業 調 整 委 員 会	1 (0)	2 (0)
	内 水 面 漁 場 管 理 委 員 会	0 (0)	0 (0)
	企 業 庁	1 (0)	5 (0)
	病 院 事 業 庁	0 (0)	0 (0)
	計	32 (11)	100 (45)
合 計	714 (191)	3,787 (377)	

※ ( ) 内は借覧で内数

年度別行政利用状況

年 度	人 数 (人)	点 数 (冊・点)
平 成 23 年 度 まで	16,197 (4,670)	77,841 (11,880)
平 成 24 年 度	634 (252)	3,161 (508)
平 成 25 年 度	539 (193)	2,501 (431)
平 成 26 年 度	587 (212)	2,611 (419)
平 成 27 年 度	714 (191)	3,787 (377)
累 計	18,671 (5,518)	89,901 (13,615)

※ ( ) 内は借覧で内数

## 4 所蔵資料の展示

本館では、資料の利用促進を図るため、展示室において所蔵資料の展示を行っている。

常設展では、「愛知県の成立」と「主な所蔵資料と業務」をテーマにした展示を行っているほか、現物の古文書とその翻刻文・解説文を展示する「古文書コーナー」を設けている。

また、毎年、企画展を開催しており、平成 27 年度は、明治期の新しい広告方法である新聞広告や万国博覧会などによって、愛知県が全国や世界に発信されていく様子を、本館所蔵の県庁文書や郡役所文書等を用いて紹介する企画展を次のとおり開催した。

〔第 41 回企画展〕

テーマ 明治期愛知の広告と博覧会

期間 平成 27 年 10 月 19 日（月）～12 月 18 日（金）

## 5 古文書講座

歴史資料や郷土への関心を高めるため、一般県民を対象として、古文書講座を開催している。平成 27 年度は、次のとおり開催した。

A 講座「公文書館所蔵古文書を読む―入門編―」（2 回連続講座×4 回）

講師 愛知県公文書館職員

開催日 平成 27 年 11 月 9 日（月）・11 月 16 日（月）

平成 27 年 11 月 11 日（水）・11 月 18 日（水）

平成 27 年 11 月 13 日（金）・11 月 20 日（金）

平成 27 年 11 月 17 日（火）・11 月 24 日（火）

B 講座「『愛知県史』掲載古文書を読む―応用編―」（1 回講座×2 回）

講師 愛知県総務部法務文書課県史編さん室職員

開催日 平成 27 年 11 月 25 日（水）

平成 27 年 11 月 27 日（金）

## 6 調査・研究

本館が所蔵する公文書等の内容、歴史等について調査・研究を行い、その成果をレファレンスや企画展において活用している。

なお、本館に複製本がある国文学研究資料館所蔵「愛知県庁文書」について、平成 27 年度末までに、複製本 2,404 冊のうち 1,880 冊の調査及び件名目次の作成が完了した。

## 7 機関紙の発行

愛知県公文書館について県民に広報し、利用促進を図るため、「愛知県公文書館だより」を発行している。

毎年、その年に実施した企画展、古文書講座を始めとして各種事業の概要や所蔵資料の紹介などを掲載しており、平成 27 年度は、第 20 号（平成 28 年 1 月 29 日）を発行した。

## 8 その他

### (1) 所蔵資料検索システム

県民共有の財産である本館所蔵資料をより多くの方に利用していただくため、インターネットによる検索システムを導入し、平成16年3月から提供している。

検索システムでは、所蔵資料を、簿冊名（資料名）、件名目次、作成部課室、完結年度（又は発行年）から検索することができ、資料の検索結果一覧画面から閲覧申請書（閲覧票）の出力ができるようになっている。

また、全所蔵資料の一括検索のほか、「公文書」、「刊行物・古文書等」、「地籍図・地籍帳」等の資料区分から必要な資料区分を選択して検索することもできる。

### (2) デジタルデータ閲覧サービス

デジタルデータ化した地籍図・地籍帳、藩庁文書・県庁文書等は、館内の閲覧用パソコンで閲覧できるようになっている。

そのうち地籍図については、現在の地名や地図、過去の地名から目的の場所を探して閲覧することができる「地籍図閲覧システム」を平成 17 年度に導入し、利用者へ提供している。

## 《利用案内》

- 1 開館時間  
午前9時～午後5時
- 2 休館日  
土曜日、日曜日、国民の祝日  
年末年始（12月28日～1月4日）  
整理期間（春季10日以内）
- 3 複写  
有料 ※一部、複写できない資料もあります。
- 4 展示  
展示室において所蔵資料を中心とした展示を行います。



地下鉄名城線「市役所」下車 5番出口  
市バス・名鉄バス（基幹バス）「市役所」下車

愛知県公文書館年報

平成28年7月発行

発行 愛知県公文書館

〒460-8501

名古屋市中区三の丸二丁目3番2号

愛知県自治センター内

Tel 052-954-6025(ダイヤルイン)

Fax 052-954-6902

ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/kobunshokan/>

E-mail [kobunshokan@pref.aichi.lg.jp](mailto:kobunshokan@pref.aichi.lg.jp)